

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 中国語学中国文学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ (中国語学中国文学 専攻分野)

1、次の文章は、『程史』巻七に見える一節である。問題文の左側に、現代仮名遣いによる書き下し文と現代日本語訳を、それぞれ記しなさい。なお、問題文は1頁から3頁までである。

秦檜爲相，久擅威福。士大夫一言合意，立取顯美，至以選階一二年爲執政，人懷速化之望，故仕於朝者，多不肯求外遷，重内輕外之弊，頗見於時。有王仲荀者，以滑稽游公卿間。一日，坐于秦府賓次，朝士雲集，待見稍久。仲荀在隅席，輒前白曰：「今日公相未出堂，衆官久俟，某有一小話願資醒困。」

衆知其善譴，争竦聽之。乃抗聲曰：「昔有一朝士，出謁未歸，有客投刺于門，闔者告之以某官不在，留門狀，俟歸呈稟。客忽勃然發怒，叱闔曰：『汝何敢爾！凡人之死者，乃稱不在，我與某官厚，故來相見，某官獨無諱忌乎！而敢以此言目之耶！我必俟[※]其來，面白以治汝罪。』」

※注：俟は俟に同じ。

閻拱謝曰：『小人誠不曉諱忌，願官人寬之。但今朝士留謁者，例告以如此，若以爲不可，當復作何語以謝客。』客曰：『汝官既出謁未回，第云某官出去可也。』閻愀然蹙額曰：『我官人寧死，却是諱出去二字。』滿坐皆大笑。仲荀出入秦門，預襲客，老歸建康以死。談辭多風，可雋味，秦雖煽語禍，獨優容之，蓋亦一吻流也。

1、次の三項について、それぞれ解説しなさい。

① 『詩經』 ② 『太平広記』 ③ 老舍

[illegible]

[illegible]

[illegible]